

夏の短期留学 2019 in 徳之島



7泊8日 活動の記録



『夏の短期留学 2019 in 徳之島』

(活動日) 令和元年8月1日(木)～8月8日(木)

(活動場所) 鹿児島県大島郡 徳之島町・天城町・伊仙町

(参加人数) 小学生8名 ・ 中学生2名 ・ スタッフ7名 ・ 講師9名

(参加地域) 東京都・埼玉県・千葉県・大阪府・熊本県・沖縄県・鹿児島県大島郡伊仙町

(協力) 徳之島町・天城町・伊仙町・(一社)徳之島観光連盟・日本航空株式会社・(株)富士ゼロックス鹿児島
(一社)金見あまちゃんクラブ、NPO法人 徳之島虹の会・(株)モスク・クリエイション、
明治大学体育会ローバースカウト部・(合)あまみ徳之島絆ファーム・徳之島町手々地区ふるさと留学センター

(活動助成) 子どもゆめ基金

(主催) 徳之島 游学 PROJECT



National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

参加してくれたみんなと関係者の皆様へのお礼

始まる前は、長いと思っていた8日間。期待と不安入り混じる中で、スタートした夏の短期留学。でも終わってみれば、あっという間だった8日間だったのではないのでしょうか？

改めまして、『夏の短期留学 2019 in 徳之島』参加してくれた 10 名の参加者の皆さん。本当に参加してくれて、ありがとうございました。

また、7泊8日という長期間の活動に快く送り出してくださいました保護者の皆様にも心から感謝申し上げます。そして、活動を陰に日向に支えていただきました徳之島 3 カ町の関係者の皆様、8日間の活動を共に過ごしていただいた大学生スタッフの皆様、特別授業や体験活動で指導をしていただきました皆様、様々なご支援をいただきました企業・団体・地域の皆様。この活動に携わっていただきました皆様に心より感謝申し上げます。皆様のご支援のもと、活動を無事に終えることができました。

8日間の活動の中では、「真剣に遊び、楽しく学ぶ」のコンセプトのもと、様々な取り組みを実施いたしました。中には、島に住んでいる人でも見たり体験したりすることがほとんどできないようなこともあり、企画した私自身にとっても本当に忘れられない活動となりました。

この8日間の活動を簡単にではありますが、活動の記録としてまとめました。参加してくれたみんなの思い出に。そして活動を振り返り、ご家庭での会話の一助となりましたら幸いです。

それではまた、徳之島で皆さんの笑顔に再会できる日を楽しみにしております。



徳之島 遊学 PROJECT

代表 川口 明

1日目：徳之島に集合／ハブの安全教室／テント設営／海での活動



2日目：ビーチコーミング&クラフト／徳之島や世界自然遺産に関するワークショップ



3日目：夜光貝工房見学／手々海浜公園で防波堤からの飛び込み／夜光貝磨き



4日目：SUP体験／ウミガメに関する講義&孵化率調査／東天城祭り参加



5日目：金見集落歩き／シーカヤック体験&シュノーケリング／ムチタポリ体験



6日目：ムシロ瀬見学／海の危険生物に関する講義／追込み漁体験



7日目：徳之島の森と生き物に関する講義／板根見学／川の生き物観察&飛び込み



8日目：朝から大慌てでテント撤収／活動の振り返り／徳之島を出発・解散

1日目

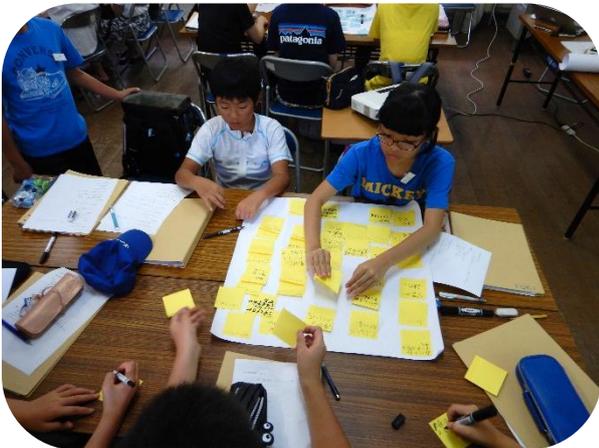


《1日目》

いよいよスタートした夏の短期留学 2019 in 徳之島。天城町役場でハブの安全講習を受けた後、最初の野営地である瀬田海海浜公園へ。

テントを張ったら、待ちきれないとばかりに海へダッシュ！ 中には、海に入るのが初めてという参加者もあり、最初のうちはおっかなビックリという参加者もいましたがあっという間に大はしゃぎに。短い時間でしたが大いに楽しんでいました。羽釜による野外炊飯などの夕食と片付が終わった後に振り返りをしていると、突然雨が降り出して大慌てで屋根の下に避難。初日から天候に振り回されるなか、みんな仲良くテントで就寝しました♪

2日目



《2日目》朝からすっきりしないくもり空でしたが、みんな元気いっぱい朝食作り♪
喜念浜に移動してビーチコーミング&ビーチクラフトです。活動に先立ち、天城町地域おこし協力隊の野瀬さんから、海のゴミに関する講義などもあり、みんな真剣に活動に取り組んでいました。

午後からは、徳之島観光連盟の丸山さん、徳之島 虹の会の美延さんによる、「島のいいね！」に関するワークショップが行われました。島の自然・歴史・生活・文化など、様々な視点から島のいいね！を探し、そのいいね！を守り残していくにはどうしたらいいか？自分たちに何ができるのか？様々な意見が交換されました。

夜は天候の悪化を考慮し、宿泊先を変更！夕方以降、すさまじい雷雨に見舞われ冷や汗ものでした。



《3日目》荷物を撤収したら、次の宿泊地徳之島町の手々を目指します。途中、徳之島のハマちゃんこと濱崎さんの夜光貝工房に立ち寄り、島を立つまでに記念品作りの宿題が出ました♪
午後からは、手々海浜公園で海遊び&磯の生き物観察です。ライフジャケットに身を包み、すごい勢いで防波堤から次々に飛び込む様子はなかなかの大迫力。最初は怖くてなかなか飛び込めなかった参加者も、みんなの声援に背中を押されてがんばって飛び込みができるようになりました☆
磯の生物観察では、色とりどりの魚や珊瑚、ウツボなども発見しみんな大興奮でした。

夜は、5日の夕食のメニュー決めの子ども会議。様々な意見が出る中、京子ちゃんがしっかりファシリテーションを行い、意見のとりまとめをしていました。

4日目



《4日目》朝から水着に着替えてさっそく海へ！大潮&満潮&強風の中、子どもたちがSUPを漕ぐにはちょっと厳しいコンディション。スタッフが漕ぐSUPの前についてのSUP体験です。

午後からは、ウミガメに関する講義を徳之島 虹の会の政（つかさ）さんからいただいた後、産卵跡に孵化率調査へ。調査を始めてすぐ、脱出し損ねていた子亀たちが出てきたのを発見！！島人でも体験することができない救出作戦に、みんな大興奮♪一生懸命泳いでいく子亀たちを、満面の笑顔で見送りました。（政さんより詳しい資料をいただいたので、しっかり読んでみてください。）

夜は、ちょうど開催されていた東天城祭りに参加。ステージでの島ならではの出し物や、出店を存分に楽しんでいました。

5日目



《5日目》活動も折り返しを迎え、そろそろ洗濯物が厳しくなってきました。ということで、この日は荷物整理を朝からしっかりやった後に、お洗濯の日です。

午前中は、徳之島屈指の景勝地 金見集落で、地元のエコツアーガイド元田さんに案内していただき集落歩きを行いました。ジビエカフェとうぐらでジビエ丼（猪肉の丼）を食べた後は、透明度抜群の金見の海をシーカヤックで満喫。後ろ髪をひかれながら金見を離れた後は、洗濯の合間を縫って母間集落の守り神、『神様ウナギ』の見学へ♪

夜は、手々集落の伝統行事『ムチタボリ』（お餅をくださいの意）の踊りの練習に参加させていただくという、本当に充実した一日でした。



《6 日目》いよいよ活動も終盤に入り、最後の野営地である与名間海浜公園へ。途中、徳之島を代表する景勝地の一つ『ムシロ瀬』へ立ち寄り、自然が作り出した絶景に見入っていました。沖合を泳ぐウミガメにも遭遇することができ、炎天下にもかかわらずみんな立ち去り難い様子でした。

午後からは、天城町地域おこし協力隊の益子さんより、海の危険生物に関する講義を受けた後、いよいよ追い込み漁に挑戦です。直前に危険生物の話聞いたばかりで恐る恐るという参加者もいましたが、力を合わせて挑戦していました。残念ながら大漁とはいきませんでした。講義の中にも出てきたオニダルマオコゼをボランティアの方が手づかみで GET し、夕飯で味噌汁に♪ 見た目とは裏腹のおいしさに、みんな競い合うように食が進んでいました。

7日目



《7日目》旅のクライマックスは、世界自然遺産登録候補地の徳之島の森での活動です。徳之島の中央に位置する三京（みきょう）は、貴重な動植物が数多く生息する森で、活動の中では森の守り神ハブをはじめ、リュウキュウハグロントノボ、キハラヨシノボリ、リュウキュウウラジロガシなど様々な生き物たちを目にすることができました。三京川での飛び込みでは、3日目に海への飛び込みをしり込みしていた参加者も含め、大声で活動の感想や徳之島への想いを叫んだあと何度も飛び込んでいました♪（ちなみに3日目の飛び込みは3mくらいでしたが、三京では5mくらい？ありました。）

最後の夜は、BBQ&花火です。これまで活動に関わっていただいた方もお呼びし、活動の思い出話に花が咲きました。

8日目

想定外の強風が吹き荒れたので、早々にテントを撤収しました。



《8日目》ついに迎えた活動最終日。夜半からの強風に耐えていたテントが、早朝から悲鳴を上げ始めました。5時に飛び起きると、時折吹く強風でテントがすごい状態に。ということで、すでに目を覚ましていたみんなと協力し、きゅうきょ撤収作業のスタート！作業途中で、どしゃ降りに見舞われ、みんなびしょびしょに濡れてしまいましたが、そんな状況もみんな楽しんでいました。

沖縄から参加していたフキちゃんは、飛行機が飛ばなかったため3日ほど延泊することになりましたが、他のみんなはうらやましそう。鹿児島空港への飛行機の出発が遅くなったせいで、鹿児島空港での乗り継ぎが2時間待ちとなるトラブルはありましたが、みんな無事に帰路につきました。最後の最後まで天気に振り回されましたが、沢山の笑顔あふれる8日間になりました♪

楽しかったこと

- 飛び込み
- 追い込み漁
- お祭りに参加
- BBQ & 花火
 - 子亀の脱出
- ムチタボリの踊り
 - シーカヤック
- 川を車で渡った
 - SUP
 - ダジャレ
- 海に中に行くと魚が必ずいる環境
 - 全部！！
- シュノーケリング

がんばったこと

- 自炊 火おこし 野外炊飯
- テント設営（強風でテント倒れた）
 - 早寝 早起き
 - 風の音に耐えた
- 水着のにおい（風が強くて洗濯物干せなかった）
 - 海や川への飛び込み
 - 夜のトイレ
 - 冷たいシャワー
 - ナマコを触った
- 色々な話を聞いた（講義中寝ないようにした）
 - 野菜をがんばって食べた
 - ジュースをがまんした
 - 夜光貝磨きがんばった
 - 毎日の日記

活動の振り返り

最終日に、この活動の全体の振り返りを行いました。

どしゃ降り、雷、強風、宿泊先の急な変更などなど大変なことも色々ありました。でも、みんな元気に楽しんでくれたようで、本当に企画して良かったと感じています。

活動の中では、島ならではの体験や学びの他にも、きっと様々なことを感じ・学び・考えたのではないのでしょうか？

この8日間の活動が、みんなの中で少しでも役に立てばうれしく思います。

学んだこと

- 海の危険生物について
 - 物の大切さ（失くすと悲劇）
- ウミガメの産卵について（赤と青のちがい）
 - 色々な視点からの徳之島
 - ゴミを海に捨てたらどうなるか
 - 珊瑚は刺さると痛い！
 - 海ケムシはいっぱいいる
 - 海水 淡水 汽水 について
- 徳之島の人やさしさ 自然の素晴らしさ
 - アマミノクロウサギは生きた化石
 - 世界自然遺産登録に向けた活動
 - テントの立て方
- 徳之島の様々な生き物（固有種）
 - 学校の生徒数が少ない

フリートーク

- 方言（島口）がむずかしい
- びっきゃの伝説が面白い
 - ゴキブリが東京と違う
- 3,000円欲しかった（ハブ獲りたかった）
 - 追い込み漁は難しい
- 飛行機が欠航にならないといいな～
 - 沖縄便が欠航になった
- お米は炊き方を失敗すると硬い
- 虫をあんなに見るのは初めてだった
 - ごはんを薪で炊くのは大変
- 結局朝日が昇るのは見れなかった
- アマミノクロウサギ見れなかった
 - 日焼けした
 - 疲れた…
- 帰りたくな～い

d

夏の短期留学 2019 in 徳之島

参加者&スタッフ



スペシャルサンクス
こんどうさん



みんな、島でまた会おう！！